

## 株式会社TOKAIケーブルネットワーク 2023年度番組審議会 議事録

開催日時 2023年12月11日(月) 11時00分～13時00分

場所 グランディエールブケトーカイ 4階 ワルツ

出席者 <審議委員> 下記審議委員7名中6名出席(1名欠席)  
大坪 壇 様 審議会会長(静岡産業大学総合研究所 所長)  
曾根原 容子様(沼津市)  
渡邊 英正 様(三島市)  
勝間田 誠 様(御殿場市)  
青木 洋一 様(富士市) ご欠席  
古谷 光子 様(焼津市)  
井上 幸代 様(藤枝市)

<TOKAI ケーブルネットワーク>

代表取締役社長 鈴木 光速

代表取締役専務 近藤 雄二

放送企画部部长 望月 隆宏

放送制作部部长 澤井 宏幸

- 次第
1. 開会挨拶 (代表取締役社長 鈴木 光速)
  2. 議事
    - 1)2023年度コミュニティチャンネルの取組み
    - 2)審議番組視聴、審議  
「しずちゃんの静岡をもっと食べたい! 沼津市編」  
「静岡彩発見 吉田町めぐり」
  3. 閉会挨拶 (代表取締役専務 近藤 雄二)

開会挨拶:TOKAI ケーブルネットワーク 鈴木社長

番組を制作する上で「良い番組」を作るために取り組むのは当然だが、「良い番組とは何か?」というのは考えれば考えるほど難しい意味合いのものである。我々の事業は地域の皆さまに支えられているということを考えれば、その地域に暮らす方々が生涯にわたって元気でいて頂ける、地域に貢献できるような番組が目指すもののひとつである。

今回審議いただく番組もそういった想いを込めた番組であり、その観点からのご意見を頂き、今後の番組制作に更に精進していきたい。

審議番組：「しずちゃんの静岡をもっと食べたい！」約 29 分視聴

「静岡彩発見 吉田町めぐり」約 29 分視聴

番組概要：

【しずちゃんの静岡をもっと食べたい！】

地域で頑張る生産者に焦点を当て人気タレント「しずちゃん」が訪問し応援、視聴者の皆さんに紹介する番組。毎回、紹介エリアの市町長が出演し、一次産品や地域の魅力を紹介してもらう「行政連携番組」。今回審議いただく回では、沼津市でアジの干物づくりに挑戦する。

【静岡彩発見】

静岡県内の各地域の宝をめぐる旅「静岡彩発見」。自然、文化、施設等数多く県内に存在する「静岡の宝」にスポットをあて、その魅力を美しい風景とともにお届けする番組。ドローンによる上空映像、防水カメラによる水中映像など「映像美」にこだわったシリーズ。今回審議いただく回は、大井川と駿河湾に面した吉田町を訪れ、この土地ならではの産業や歴史を”彩”発見する。

番組審議

(大坪会長より)

本日は 2 つの番組を視聴したが、そのほかにも日頃コミュニティチャンネルを視聴している中での意見なども含めて発言してもらいたい。

(沼津市 曾根原副会長)

- ・「しずちゃんの静岡をもっと食べたい！」は地元を取り上げた回だが、自分の街がこんな素敵に映るのかと感動した。
- ・“個の時代”の今、頑張っている若者や、地域に根差した人々に密着する番組を作ることで、密着された本人からその友人へと番組の視聴も広まっていくと思う。

大坪会長) 地域をテーマにした番組を見たときに、地元の人はどうに感じるものか？当たり前だと思わないか？

曾根原副会長) 例えば、「しずちゃんの静岡をもっと食べたい！」で取り上げていた干物の最先端の生産方法など、地元の人であっても知らないことは沢山あり、新たな発見がある。

(三島市 渡邊委員)

- ・「静岡彩発見」は、普段メディアではあまり取り上げられない地域がクローズアップされており、地元の人でも、そうでなくても吉田町について再発見できる内容で良かった。

- ・総じて内容がとても良くなってきている。民放局で放送していても遜色ないクオリティ・見やすさであった。

(御殿場市 勝間田委員)

- ・全体的に技術が上がっている。特に「静岡彩発見」はドローンを使用しているので、自分たちの目線では見られない視点での映像が良かった。
- ・テレビ東京で、地域を訪れ隠れたポイントを発掘し、昭和と令和を比較するという番組があった。ディレクターが地元に行き、普通だと思えることも突き詰めると違ったものが見えてくる点が面白かったので、ケーブルテレビでも地域の隠れた魅力を発見するような番組を作ったら面白いのでは。

望月部長) 是非検討したい。地域の人といっても年齢別にレイヤー分けされると考えている。現在は比較的年齢の高い層に向けて番組を作っているが、次世代の若者向けのところは手薄になっており、そこと比較するような番組は非常に面白い。地域のレイヤー層へ横串を通すような番組を作っていきたい。

(焼津市 古谷委員)

- ・画像が綺麗で、撮影アングルもよかった。「しずちゃんの静岡をもっと食べたい！」で魚をさばくシーンでは、自分でもさばけるのではないかと感じるほどだった。
- ・番組を、小中学校の教材に使用したらよいのではないか。「静岡彩発見」は、吉田町の昨今を学ぶほか、社会勉強に最適だと感じた。現在の小学校では、タブレットで動画を視聴する機会もあるため、活用できるのではないか。

望月部長) 「しずちゃんの静岡をもっと食べたい！」を三島市内の小中学校で教材として活用した実績がある。島田市や吉田町など、行政関連施設や役所に設置したテレビで番組を流してもらっているケースもある。

(藤枝市 井上委員)

- ・番組自体二度目の視聴であったが、見やすい構成で、面白さが共感できた。
- ・別件ではあるが、「トコチャンワイド」内コーナーの1つである「トコスポ」の取材を受けた際、カメラマンの事前のリサーチや、構成の練り具合に感心した。また、取材から編集まで1人でこなしている点や、子供への対応も良く、取材もスムーズであり、取材を受けた側としても、良いものが作れたと感じた。
- ・「らららパクパク」(※TOKAIグループが地域活性化に取り組む「歌と食で静岡を元気に！」プロジェクトで誕生した静岡の食や名所が登場する新ご当地ソング)の活動で小学校を訪れた際、先生達から面白い取り組みだと言って頂けた。このような新しい取り組みをしたいという意向が学校側にもあるので、タイアップすれば、さらに盛り上がるのではないか。

大坪会長) 藤枝駅前にある TOKAI ケーブルの撮影スタジオについて何か意見はあるか。

井上委員) スタジオを活用し、素人が出演したら面白いのではないか。若者が使用できる場にしたり、彼らが伝えたいことを取り入れていくコーナーを作ったらどうか。

大坪会長) TOKAI ケーブルのスタジオは藤枝以外にもあるのか。

望月部長) 沼津にもある。以前はスタジオ見学もできたがコロナ禍もあり、現在はオープンにしていない。スタジオでは「トコチャンワイド」の生放送を収録している。その他、イベント等の中継も行っているが、コロナも落ち着いてきたので、視聴者と触れ合えるような機会を増やしていきたい。

大坪会長) 「地域への貢献」について要望はあるか。

曾根原副会長)

・「静岡彩発見」は地元にも知らないことを番組にして残していくという点が地域貢献になると感じた。個人に焦点を当てた番組も作ってほしい。

渡邊委員)

・「街づくり」や「人口を増やす」など地域貢献といっても色々ある。「地域を発信する」という点はできていると思うので、今後は、地域の企業を取り上げ“〇〇にはこんな特色があって…”など紹介し、地元企業への就職のきっかけになる番組があれば、地域貢献になるのではないか。

勝間田委員)

・個人的に野球が趣味だが、今年の高校野球の生中継は非常に良かった。御殿場エリアからは静岡エリアの球場が遠いので、テレビで応援できるのはありがたい。静岡県ではプロ野球2軍へ新規参入する球団があるので、取り上げたら盛り上がるのではないか。

古谷委員)

・民放の“月9”のように、トコチャンの見たい番組が“〇曜日の〇時”に放送されているのか分からない。新聞など誌面で伝えることはできないか。

望月部長) 担当部門を設置し、番組編成自体は既にそうなっているが認知されていない。今後力をいれていきたい。

近藤専務) 過去に、静岡新聞にトコチャンも番組欄に加えてもらうよう、交渉はした。月に1度折込チラシを発行するなど検討していきたい。

井上委員)

・スタジオ連携企画はどうか。SNSは若者が番組やイベントを知るきっかけになるため、若者を巻き込んでいけるようなものがあつたらいい。

(総評 審議会会長 大坪会長)

- ・地域で何が愛されているのか、どのようにしたら活性化になるかという点は難しく大きなテーマであるので、常に頭の中に入れてもらえればよい。
- ・今の日本は大変動の時代であり、あと2～3年したら高齢者(=65歳以上)が増え、静岡県内でも30%を超える。彼らの一番大きなテーマは、退屈であること。高齢者は退屈故に、いい番組を作れば見る層である。彼らに向けて、いい情報を提供することで活性化ができるのではないか。また、この層はスマートフォンが使いこなせずPCを所持していない。彼らに向けていい番組・情報を提供することがケーブルテレビの座標となる。

勝間田委員) 御殿場ではコミュニティFMが小規模なイベントをプロデュースし放送も行うことがある。同じような取り組みをTOKAIケーブルでも行うことはできないか。

鈴木社長) 現状、できていない。11月23日に「しずおかカンパイ&マルシェ」というグループ横断イベントを開催した。ご指摘頂いたようなイベントをプロデュースし発信することは課題であり、今後取り組んでいきたい。

閉会挨拶：TOKAIケーブルネットワーク 近藤専務

当社はケーブルテレビとしては放送エリアが広く、例えば、静岡市のイベントを取り上げても御殿場市の人にはあまり興味を持たない、など、一口に地域密着といっても非常に難しいと感じている。そんな中“地域ド密着”というブランドを立ち上げ、徹底的に地域にフォーカスした番組を制作し集中投下するという取り組みを行っている。

昨年、吉田町エリアが新規開局した際もこの取り組みを行い、吉田町に特化した番組をいくつも制作・放送したところ、加入者も順調に増え、ケーブルテレビの認知度も上がり、“地域への貢献”と“事業への貢献”が並列した一つの成功例と言える成果が得られたと思う。

今回、皆様からはあたたかいお言葉を頂けたが、今回は厳しいご意見も含めて審議いただき、番組をより良くしていきたい。

以上